

令和元年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価	点検・評価									
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育の充実	① 教育環境の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				小中学校の管理備品及び授業等に使用する各種教材備品の整備に努めた。 経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者（地震により被害を受けた者を含む）に対して、就学援助費を支給した。 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため、特別支援学級奨励費を支給した。
				○									
		② 学校施設の整備	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				飯野小：特別教室棟増築工事 津森小：ブロック塀撤去及びフェンス設置工事 広西小：ガラスブロック防水工事 木山中：トイレ改修工事 益城中：災害復旧工事
		○											
③ 教育内容の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				小中学校の第1学年の学級（20人以上）に、個々の児童・生徒の望ましい基本的な生活様式及び基本的な学習態度を身につけさせるため、担任を補助する職員を配置。同時に、学年を問わず授業や生徒指導など課題に応じた児童生徒の対応や図書館業務を支援する職員を各学校に1名ずつ配置。 また、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導に充てるために、学校教育指導員1名を事務局に配置している。		
		○											
④ 豊かな心を育む教育の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				本年度も不登校児童生徒の再登校へ向けた支援や不登校児童生徒を出さない取組、生徒指導上課題のある児童生徒の健全な成長を促すための工夫等を推進する事業を実施した。		
		○											
⑤ 体育・健康教育の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				益城町学校保健会が行う、実践活動事業に対して、運営補助金を交付した。（家庭、地域、学校、幼稚園、保育所が連携して進めた。令和元年度の研究テーマは、「いのちを大切にする子どもの育成」）		
		○											

# 令和元年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育の充実	⑥ 特別支援教育の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				特別支援教育連携協議会を設置し、発達障がいを含む障がいのある幼児児童生徒に対する適切な教育支援のための支援体制を整備するとともに、特別支援教育に対する理解啓発を図った。 また、小中学校の通常学級に在籍する障がいのある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行ったりする特別支援教育支援員を各小中学校に配置した。
			○										
⑦ 教職員の資質の向上	実現度 ↑ <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				(初任者研修、中堅教員等研修等：町教育委員会主催) ・新任教員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させることを目的として、初任者研修会を2回実施。 ・35歳以上の教職員に幅広い研修を行い、資質の向上を図るため、中堅教員等研修会を6回開催。 ・ICT機器の効率的活用を推進するため、ICT支援員によるヘルプデスク対応等で教職員の資質向上に努めた。		
		○											
(2) 生涯学習の推進	① 生涯学習活動の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				平成28年熊本地震の影響により被災した生涯学習施設の交流情報センター(益城町図書館)は応急修理が完了した。中央公民館が利用できないため、令和元年度の公民館講座は休講となったが、単発講座を交流情報センターや保健福祉センターを利用し行った。益城町文化会館は復旧工事のため、アウトリーチ事業等により対応した。 益城町人権・同和教育推進協議会は、令和元年度よりすべての事業を再開した。	
		○											
② 生涯学習施設の充実	実現度 ↑ <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>○</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> → 重要度						○				令和元年度は、熊本地震により被災した7カ所の自治公民館整備に、熊本地震復興基金、兵庫県義捐金及び益城町自治公民館整備費等補助金を交付した。		
		○											

# 令和元年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 生涯学習の推進	③ 芸術・文化の創造と文化財の保存活用	実現度 ↑ <table border="1" data-bbox="802 376 1034 539"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度						○				町文化財を新規に1件指定し、被災した文化財の修復方針等の検討を行った。(飯田山常楽寺境内) 国天然記念物「布田川断層帯」は、保存活用計画策定委員会を設置し委員会を開催した。 その他に「ましきふるさとかるた」と「まんが四賢婦人物語」(販売用)の発行を行った。 また、四賢婦人記念館を潮井自然公園内に移転新築し、約1,500人の来館があった。
			○										
	④ 体育・スポーツの振興	実現度 ↑ <table border="1" data-bbox="802 801 1034 965"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度						○				熊本地震により被災した町内の体育施設の復旧に取り組み、4月から陸上競技場、テニスコートの利用を再開した。また、総合体育館復旧工事も令和2年3月に竣工し、令和2年7月から利用を再開する。 イベントについては、施設が十分に復旧していないことから、前年度並みの実施にとどまった。	
		○											
(3) 学校給食充実事業	① 食育の推進	実現度 ↑ <table border="1" data-bbox="802 1160 1034 1323"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度						○				給食センター栄養教諭が、各学校に出向き、それぞれの教科、給食の時間等で、食育に関する指導を行ったり、保護者あてに「給食だより」「献立表」を毎月発行した。	
		○											
② 施設の整備	実現度 ↑ <table border="1" data-bbox="802 1406 1034 1570"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							学校給食センター復旧工事に伴う水道管新設舗装工事及び旧学校給食センター解体工事を実施した。		
		○											
(4) 新しい時代に対応する教育の充実	① 環境教育の推進	実現度 ↑ <table border="1" data-bbox="802 1653 1034 1816"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度						○				当町では、公害について社会科で学ぶ小学5年生に対し、公害被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を、現地を訪問して学習することになっている。 この体験学習を通して、児童が自ら課題を見つけ、情報収集する主体的な調べ学習を行い、さらには、判断し、行動を起こすことができるような教育の質的な高まりを期している。 この、「水俣に学ぶ肥後っ子教室事業」に全町内の小学校5年生が参加している。	
		○											

# 令和元年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
<p>3 教育委員会が管理・執行を</p>	<p>(4) 新しい時代に対応する教育の充実</p>	<p>② 国際理解教育の推進</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="802 421 1034 577"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→ 重要度</p>						○				<p>小・中学校に、益城町教育委員会ALT（外国語指導助手）3名を派遣し、英語によるコミュニケーション能力の育成や異文化への理解を深めるため、ALTを活用した授業を展開している。</p>
		○											

## 総合評価

1. 教育委員会の活動及び教育委員会が管理・執行する事務については、熊本地震の影響のなか、全ての分野について基本方針や施策を示し、実態把握・点検・指導助言等を適切に行い、適正な教育委員会運営に努めた。

2. 学校教育については、熊本地震により被害を受けた学校施設のうち、益城中を除く復旧工事は平成30年度中に終了した。現在地での建替えとなった益城中は、令和2年度中の完成を目指している。

学校給食センターの復旧工事が令和元年2月に完了し、4月から町内全小中学校に給食を提供した。また、被災した、旧学校給食センターの解体工事も完了した。

児童生徒、保護者の心のケアについても、昨年引き続き実施した。

3. 生涯学習における文化振興事業については、熊本地震で被災した文化会館が復旧工事のため利用できないことから、学校等におけるアウトリーチ事業を中心に行った。交流情報センターは、災害復旧工事が完了した。また、中央公民館は解体工事が完了したため、公民館主催講座については、交流情報センター及び保健福祉センターを利用し、単発の公民館講座を実施するなど生涯学習及び社会教育の充実に努めた。